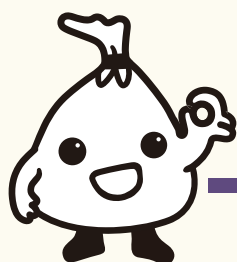


# 第5次中野区 一般廃棄物処理 基本計画



中野区ごみ減量  
キャラクター  
ごみのん



## —なかのごみゼロプラン— 〈概要版〉

計画期間:令和8(2026)年度~令和17(2035)年度

### 計画の概要

#### 一般廃棄物処理基本計画って何？

- ・ 一般廃棄物処理基本計画とは、毎日の生活から排出されるごみ（一般廃棄物）を処理する区の清掃・リサイクル事業の指針となるものです。この計画をもとに、さらなるごみ減量や資源化促進の取組を積極的に進めていきます。
- ・ 今後10年間で計画期間としていますが、おおよそ5年ごとに計画内容を見直し、改定を行います。

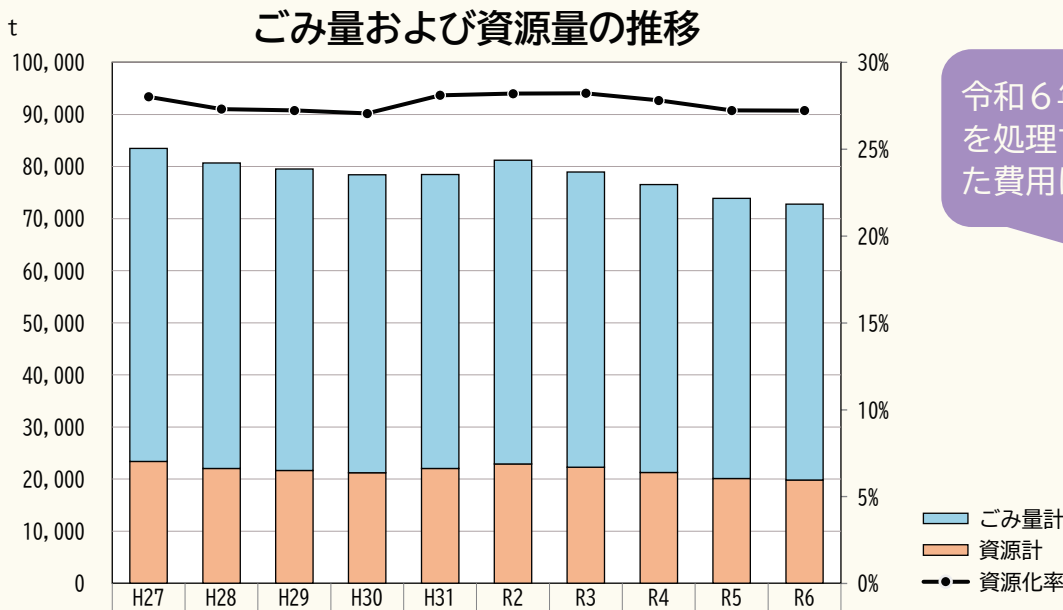
#### 計画改定の背景

- ・ 地球温暖化に伴う気候変動や天然資源の枯渇など、環境への大きな負荷の低減が世界全体で取り組むべき課題となっています。
- ・ 多くの自治体が、発生した不用物の中から資源を循環させる従来のリサイクル（再生利用）中心の施策展開から、不用物を発生させないためのリデュース（発生抑制）を中心に据えた施策に移行しています。特に食品ロスやプラスチックを削減する動きが、国や都でも進められています。
- ・ こうした区を取り巻く様々な状況を踏まえ、持続可能な循環型社会を形成するためにさらなるごみ減量を目指し、第4次一般廃棄物処理基本計画を改定します。

# 中野区のごみと資源

## 中野区のごみと資源の量

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度にごみと資源の量は増えましたが、全体的に見ると減少傾向にあります。
- 資源化率（ごみと資源の合計のうち、資源化しているものの割合）は、28%前後で推移しています。

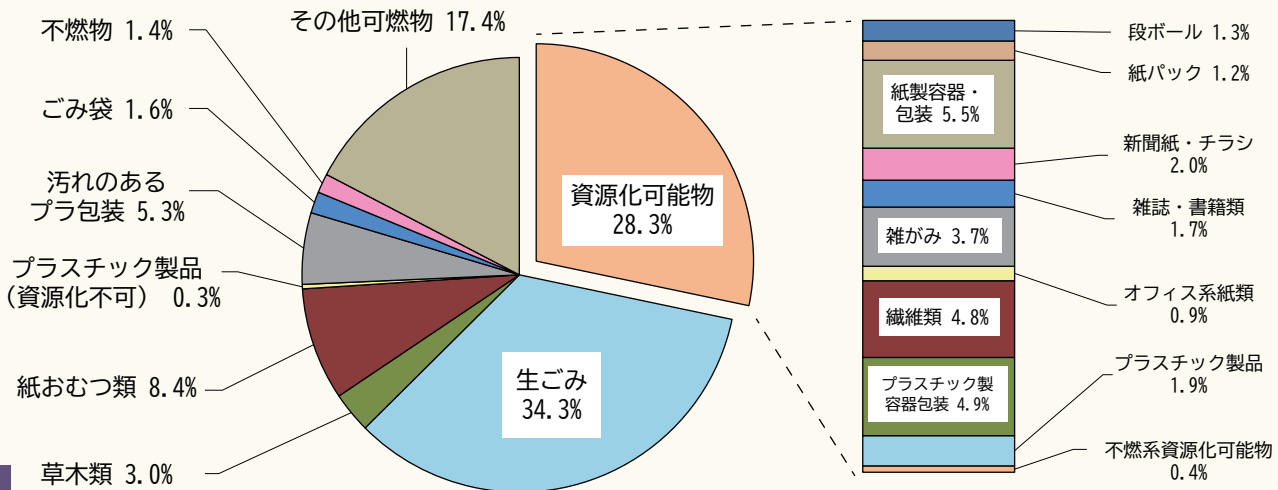


令和6年度にごみと資源を処理するためにかった費用は約55億円だよ。

## ごみの中に含まれている資源

- ごみの中には、紙やプラスチック類など、資源として活用できるものがまだまだ多く混ざっています。
- 燃やすごみの中には、資源化できるものが約3割含まれています。

### 燃やすごみの組成および含まれる資源化可能物



## 中野区のごみ・資源に関する課題

中野区のごみ・資源について、取り組むべき課題があります。

- 資源を含めた不用物全体を減らす
- 23区全体でごみ減量に取り組み、処分場に埋め立てる量を減らす
- ごみの中に含まれる資源化できるものの分別を徹底し、ごみ量を減らす
- お店などの事業者から出るごみを減らす
- 安定したごみの収集・運搬・処理を続ける



### どうしてごみを減らす必要があるの？

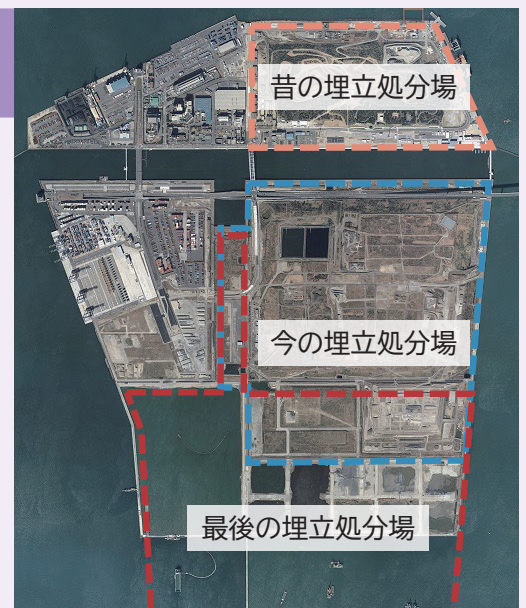
地球の資源を使い、私たちの生活はとても便利になりました。そして、いらなくなったものを「ごみ」としてたくさん捨ててきました。今、その便利さの裏でいろいろな問題が起きています。

### 埋立処分場を長く使うために

23区のごみは、燃やしたり、細かく砕いたりなどの中間処理をした後、埋立処分場に運ばれます。

今の処分場は、東京港に作る事ができる最後の処分場で、新しく処分場をつくることはとても難しい状況です。

だから、ごみを減らして、処分場をできるだけ長く使えるようにしなくてはなりません。



▲埋立処分場の上空写真（写真の提供：東京都環境局）

## 計画の基本理念

# 「持続可能な循環型ごみゼロ都市」を目指します

## 将来の姿

区民、事業者、区がそれぞれの役割を果たし、互いに協力し合うことで、ごみを出さない生活スタイルや事業活動を実践するとともに、環境に配慮したごみの減量化や効率的な資源化の取組が進み、ごみの減量が実現しています。

## 「持続可能な循環型ごみゼロ都市」の具体的なイメージ

「持続可能な循環型ごみゼロ都市」は、3Rの取組を推進し、埋め立てるごみをゼロに近づけようとするまちのあり方です。

発生抑制  
リデュース Reduce

未来のために、今までの暮らしを積極的に見直し、不要な物は買わない、もらわないことを第一に意識・行動する

再使用  
リユース Reuse

使用できる物は繰り返し使う、あるいは有効に使い回すことを最大限に実施する

再生利用  
リサイクル Recycle

それでも出てしまう不要な物は、できる限り資源とする

中間処理

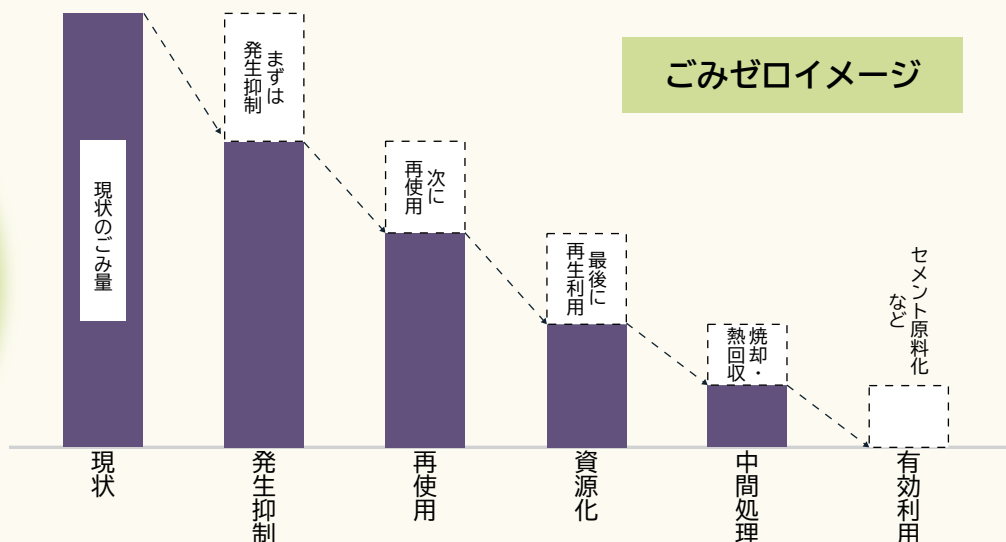
最終的に残ったごみは、焼却時のエネルギーを利用する

有効利用

焼却後の灰をセメント原料化・スラグ化する

## ごみゼロイメージ

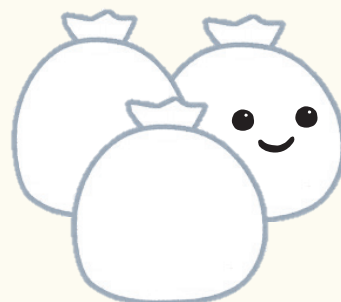
最終的に埋め立てる  
ごみがゼロ！！



## 計画の目標

### 前回計画の指標

- ①区民1人1日あたりのごみの量
- ②区民1人1日あたりの不用物（ごみ+資源）の量
- ③資源化可能なものが含まれる割合



### 前回計画の達成状況

①、②は達成しましたが、③はまだ目標値を達成できていません。

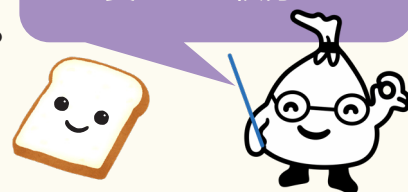
指標	平成31 (2019)年度 実績	令和6 (2024)年度 実績	令和7 (2025)年度 目標値
①区民1人1日あたりのごみ排出量	460g	425g	431g
②区民1人1日あたりの不用物総量	639g	584g	610g
③燃やすごみの中の資源化可能物の混入率	27.5%	28.3%	22.8%



### 2035年までのごみの減量目標

ごみ減量の指標は前回計画から変えず、目標値を変更しました。今回の計画では、区民1人1日あたりのごみの排出量を、2035年までに **46g 減らす**ことを目指します。

46gは、だいたい8枚切りの食パン1枚分だよ！



指標	令和6 (2024)年度 実績	令和12 (2030)年度 目標値	令和17 (2035)年度 目標値
①区民1人1日あたりのごみ排出量	425g	400g	379g
②区民1人1日あたりの不用物総量	584g	545g	508g
③燃やすごみの中の資源化可能物の混入率	28.3%	22.3%	17.3%

## 基本方針

目標達成のため、4つの基本方針をさだめました。

### ● 基本方針1：発生抑制、再使用の意識醸成

区民や事業者がライフスタイルや事業のあり方を見直し、入り口からごみの発生を抑え、資源を繰り返し利用する暮らしや事業活動が営まれるまちにしていけるよう、様々な事業や取組を通じて幅広く啓発を行い、意識の醸成を図り、行動変容につなげます。

### ● 基本方針2：分別の徹底と効率的な資源回収

入り口で発生を抑え、使える物を繰り返し使用しても、なお不用となる物を効率的に資源化するため、区民誰もが参加しやすい資源回収や、分別徹底の指導を進めます。

### ● 基本方針3：事業系ごみの減量と適正排出

事業系廃棄物収集届出制度の推進や排出指導、立ち入り調査等を通じて、事業者における適正排出やごみ減量がより進むようにしていきます。

### ● 基本方針4：環境に配慮した安全かつ着実に効率的な収集・運搬・処理

ごみと資源について、環境に配慮した効率的な収集・運搬・処理を選択し、安全に配慮した着実な収集・運搬・処理を行っていきます。また、23区全体、清掃一組、都や国と連携し、さらなるごみ減量や緊急時におけるごみ処理の連携体制についても強化していきます。

## ごみの減量に大切な3R

暮らしの中で、私たちみんなが実践できるごみ減量の取組があります。身近にできる3Rを、みなさんも探してみましょう。



# 計画実現のための重点施策

基本方針に沿って重点施策 1 ～ 9 を推進します。

イベントで活躍するごみのん



基本方針 1

## 1 普及啓発の充実



▲リニューアルしたリサイクル展示室

- 1 イメージキャラクター（ごみのん）を活用したごみ減量普及啓発
- 2 ごみ減量出前講座、環境教育の充実
- 3 「資源とごみの分け方・出し方」冊子・リーフレットの充実
- 4 ICTを活用した情報発信、啓発
- 5 リサイクル展示室の運営
- 6 区ホームページや情報誌等広報媒体の充実

## 2 食品ロスの削減



▲親子向け料理教室



▲食品ロス削減啓発動画

- 1 家庭、事業所における食品ロス削減のための啓発
- 2 区内大学等と連携した食品ロス削減の取組
- 3 飲食店・食品小売店等と連携した食品ロス削減対策事業
- 4 フードドライブ事業の実施
- 5 食品ロス削減における他自治体との連携
- 6 食品ロス削減における小・中学校との連携

## 3 ごみと資源の発生抑制に関する啓発

- 1 ごみと資源の発生抑制に関する啓発
- 2 資源としての「雑がみ」の回収促進
- 3 リユース関連情報の配信
- 4 生ごみの水切りの促進



▲ごみのんハウスの古着リユース

## 4 分別の徹底・適正排出

- 1 排出指導、不法投棄対策
- 2 集合住宅への指導徹底
- 3 危険物・有害物の分別徹底、混入防止
- 4 家庭ごみにおける費用負担制度について

基本方針 2

## 5 効率的な資源化の推進



▲区役所のリサイクルステーション

- 1 ごみとして収集した物の資源化、新たな資源品目の回収
- 2 拠点回収の促進
- 3 びん・缶・ペットボトルの回収
- 4 自動回収機によるペットボトルの回収
- 5 プラスチック資源の回収
- 6 集団回収に対する支援の推進
- 7 資源の持ち去り対策の強化について



▲ごみのんハウスに設置しているペットボトル自動回収機

基本方針 3

## 6 事業系ごみの減量と適正排出の促進

- 1 事業系廃棄物収集届出制度の推進
- 2 大規模事業用建築物への立ち入り調査
- 3 排出指導の徹底
- 4 一般廃棄物処理業者等に対する適正処理の推進
- 5 小規模事業者に対する資源・ごみの排出に対する支援の検討
- 6 廃棄物手数料の見直し

基本方針 4

## 7 適正なごみと資源の収集・運搬



- 1 安全・着実で、環境負荷を低減したごみ収集と資源回収
- 2 訪問収集の充実
- 3 適正な処理が困難な物の回収ルート確立
- 4 清掃・リサイクル事業の安定的な運営



▲ごみ収集の様子

## 8 他区等と連携した処理・処分

## 9 災害廃棄物の適正な処理



## ごみを減らすために、ひとりひとりができること

### 1 ごみをなるべく出さないようにしましょう！

ごみを減らす一番大切な方法は、ごみを出さないことです。まずはごみになるものを作らない、家に持ち帰らないなど、「リデュース」をこころがけましょう。



ごはんを  
残さず食べる



ものを最後まで  
大切に使う



使い捨て商品、  
プラスチック  
食器などは  
なるべく  
使わない



買い物袋を  
持っていき  
レジ袋は断る

### 2 生ごみの水切りをしましょう！

生ごみは燃やすごみの約3割を占めており、その約8割が水分といわれています。生ごみの水切りは、ごみを減らす大切なポイントです。



#### 水切りすると良いこと

- ・ごみが減る
- ・においを減らせる
- ・環境への負担を減らせる



### 3 食品ロスを減らしましょう！

食事を作りすぎない、買いすぎない、頼みすぎないことや、きちんと作ったものや頼んだものを食べきるように心がけましょう。

食品ロス削減協力店「なかの☆もったいないぱくぱくパートナーズ」に登録しているお店をご利用ください！



▲食品ロス削減協力店の  
目印のステッカー

詳しくは右の2次元コードから区ホームページをご確認ください。



### 4 正しく分別しましょう！

リサイクルできるものは資源として分別し、ごみを減らしましょう。例えば・・・

プラスチックだけでできたもの



リサイクルできる雑がみ



資源として分別できるものは資源回収に出しましょう。